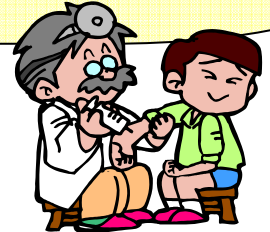


風しんが流行しています！ご注意ください！

患者が急増しています。福井県内でも感染者がでてます！！

かかると稀に血小板減少性紫斑病や脳炎という重い合併症を併発することがあります。大人は子どもより重症になる場合が多いと言われています。

風しんにかかると、妊娠中の女性が近くにいた場合、風しんをうつし、その赤ちゃんが先天性風しん症候群となって生まれる可能性があります。妊婦への感染を防ぐためにも、風しんにかかっていない方は、**早く予防接種をうけましょう。**



< 予防方法 >

1. 風しんにかかったことがあるか

風しんの予防接種を受けているかを確認しましょう。

2. 確認ができない方は、**医療機関で風しんの予防接種を受けましょう。(任意接種:実費)**

今までに風しんにかかったことがあるかが分からない方や風しんの予防接種を受けたかどうか分からない方でも

予防接種を受けることができます。

3. 流行地への旅行や人混みへの外出は控えましょう。

4. 新聞等で流行の情報を得るようにしましょう。

妊婦の方へ:妊婦は予防接種を受けられません。抗体価が低い方で、次の妊娠を望む場合は、出産後早期に予防接種をうけましょう。同居家族の方で風しんにかかったことがない方は、**医療機関で風しんの予防接種を受けましょう。(実費)**

20～40代の特に男性の方は、予防接種を受けている方が少ないです！

< 参考 > 生年月日ごとの風しん予防接種(定期接種)の状況

生年月日	ワクチン定期接種の状況
昭和 37 年 4 月 1 日 生まれ 以前	×: ワクチン接種なし
昭和 37 年 4 月 2 日 ～ 昭和 56 年 4 月 1 日 生まれ	: 女子のみ、中学時に 1 回のみ接種(かかったことのない人が学校で集団接種)
昭和 56 年 4 月 2 日 ～ 昭和 62 年 10 月 1 日 生まれ	: 男女とも、中学時に 1 回のみ接種(中学校で集団接種)
昭和 62 年 10 月 2 日 ～ 平成 2 年 4 月 1 日 生まれ	: 男女とも、1 歳～7 歳半に 1 回のみ接種(小1か2で学校で集団接種)
平成 2 年 4 月 2 日 ～ 平成 12 年 4 月 1 日 生まれ	: 男女とも、幼児期 1 回と、中学校 1 年生または高校 3 年生の計 2 回 (医療機関で各自接種)
平成 12 年 4 月 2 日 生まれ 以降	: 男女とも、幼児期 1 回と小学校入学前の計 2 回 (医療機関で各自接種)

× : ワクチン不十分。 : 男子は受けてない。もしくは接種 1 回で免疫が不十分な可能性がある。 : ワクチンを接種していれば心配なし。